

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>〈修士課程〉 本研究科には、建築学専攻・景観建築学専攻の2専攻があります。本研究科修士課程では、本学の定める修業年限以上在学し、各専攻で定める能力・資質を備えた上で、各専攻所定の履修方法に従って62単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、修士設計または修士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、修士の学位を授与します。</p> <p>〈博士後期課程〉 本研究科には、建築学専攻・景観建築学専攻の2専攻があります。本研究科博士後期課程では、本学の定める修業年限以上在学し、各専攻で定める能力・資質を備えた上で、各専攻所定の履修方法に従って7単位（修士課程における修得単位数を含まず）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査および最終試験に合格した者に対し、研究科委員会の意見を聴いて、学長が課程修了を認定します。課程修了が認定された者には、博士の学位を授与します。</p>	<p>〈修士課程〉 本研究科修士課程では、研究科・各専攻のディプロマ・ポリシーを修了時に達成できるよう、62単位を修了要件とする教育課程を編成します。両専攻とともに、一級建築士の資格を得るために必要な実務経験2年を、修了時に満たす教育課程となります。</p> <p>各専攻のカリキュラムの特性に合わせ、スタジオでの一対一の対話型演習、中間講評や講評会における発表や教員の講評、講義、小テスト、実験・実習、レポート、建築・庭園・町並み、工事現場の見学等といった学修方法を組み合わせることにより、学生の理解を高めます。</p> <p>また、修了年次に提出する修士設計または修士論文およびその発表をもつて、教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p> <p>〈博士後期課程〉 本研究科博士後期課程では、研究科・各専攻のディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような研究指導の方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本課程では、より高度で幅広い学識を有し、社会において指導的な役割を担うことができる設計技術者、研究者、教育者となるために必要な研究能力を養成することを目的とした研究指導を行います。また昼夜開講形態を採り、修学上の多様なニーズにも配慮します。</p> <p>教育課程全般を通して、ゼミ・個別指導・演習といった教育方法を効果的に組み合わせ、学生の理解を深めます。</p> <p>また、修了年次に提出する博士論文およびその発表をもつて、教育課程を通じた学修成果の総括的評価を行います。</p>	<p>本研究科は、建築学専攻・景観建築学専攻の2専攻より構成し、次のような資質を持つ入学者を受け入れます。</p> <p>「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、社会に貢献できる、より高度な建築・景観設計技術者および自立した研究者を目指そうとする者を求めます。さらに各専攻が定める修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各専攻が掲げる知識や技能、意欲を備えた者を求めます。</p>